

令和8年度学校経営計画書

校訓

創造

学校名 三次市立川地中学校

学校長名 佐伯 貴昭

I 学校の状況

| | | | | | |
|------------|---|-----|-----|------|-----|
| 学級数 | 5学級 | 生徒数 | 37名 | 教職員数 | 14名 |
| メールアドレス | kawachi-j@school.miyoshi.hiroshima.jp | | | | |
| ホームページアドレス | http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/junior/kawachi-j/ | | | | |

II 学校教育目標

- 川地中学校区小中一貫教育目標 「ふるさとを愛し、高い志をもつ児童・生徒の育成」
～小中の学びのつながりをベースに～
- 川地中学校 学校教育目標 「ふるさとを愛し、高い志をもつ生徒の育成」
～ 創造 Create! ～

○めざす生徒の姿（資質・能力）

- ・主体的に考えて行動・挑戦する生徒（主体性）
- ・他者と協働しながら、新たな価値を創造する生徒（協働性）
- ・自分の思いや考えを分かりやすく表現できる生徒（表現力）

III 使命・存在意義（ミッション）

「自己実現」と「社会貢献」により、持続可能な未来を創る生徒を育成する

IV 重点事項（ビジョン）

「川地中で学んでよかった、学ばせてよかった、働いてよかった」と思える学校づくりに向けた5つの重点事項

- 安全・安心：危機管理、不祥事防止の徹底、生徒指導の充実
- 楽しい！：「学校へ行きたい」「楽しい」「もっと学びたい」と感じる生徒
- 確かな学力：「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり
- 多様な体験：多様な出会い・つながりの場の設定、体験活動の充実
- 世界とつながり地域に貢献：広い世界とつながり、改めて地域の良さや課題に気づき、探究して新たな価値を創造し、地域に貢献

V 中心価値・行動規範（めざす教職員像）

- 豊かな人間性、確かな専門性を有し、教育に対する使命感を発揮する教職員
- 教育的な愛情、情熱を土台に、一人一人の生徒に信念をもって向き合う教職員
- 教職員同士の連携と協働により、組織的に職務を遂行できる教職員
- 社会や子供の変化にしなやかに対応でき、社会に開かれた教育課程を実践する教職員

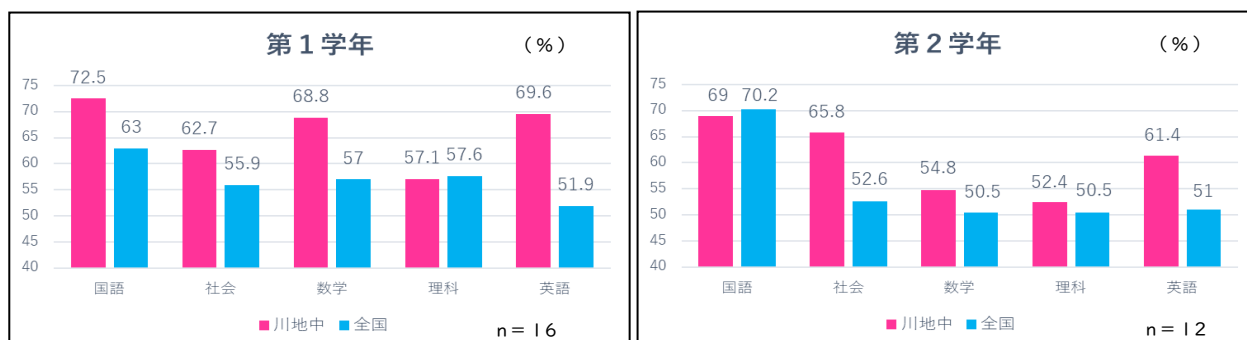
VI 現状分析

○確かな学力

学校では、主体的で探究的な学びを創造すべく、指導主事等を招聘した校内授業研究を充実するとともに、各種校外研修へも積極的に参加し、授業改善に努めている。

生徒は、全体的に落ち着いており、授業や課題にも意欲的に取り組んでいる。

令和7年度の三次市学力到達度検査結果（令和8年1月実施）は、以下のとおりである。



第1学年では、5教科中4教科において全国平均を上回り、特に、国語の読解力、数学の数と式の領域、英語の作文力が高い。第2学年でも、5教科中4教科において全国平均を上回り、社会の歴史問題、数学の図形、英語の作文力等が特に高い。全体に共通した課題として、必要な情報に着目して内容を解釈したり、複数の資料から情報を関連付けて説明したりする「情報を整理する力」に課題が見られる。

○豊かな心と健やかな体

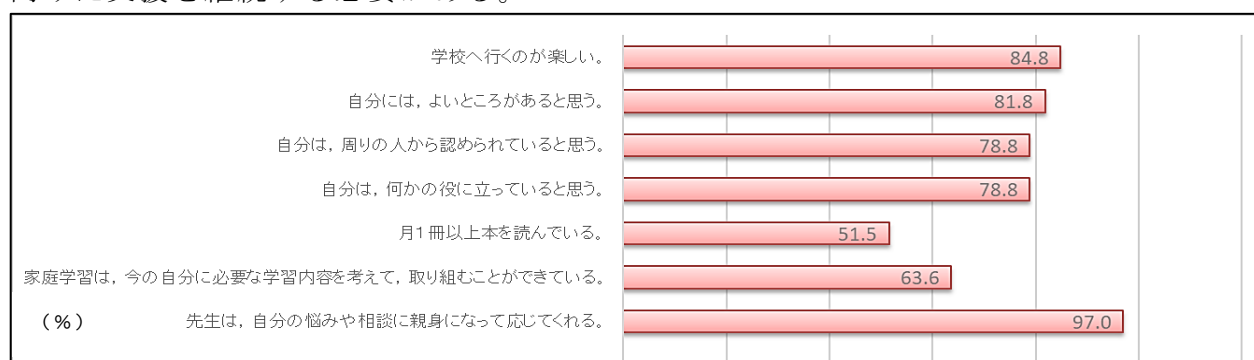
学校内で多様な体験を仕組むことに加えて、学校外での学びも推奨した。多様な価値観や世界観に触れ、改めて、本校の魅力や課題を見つめ、本校全体への還元をめざした。

学校内の体験としては、韓国の中学校とのオンライン交流を継続し、韓国からの本校訪問を実現したり、社会人女子野球チームを招聘して迫力あるプレーに触れたりした。学校外での学びとしては、3名がアメリカホームステイを経験し、その学びを文化祭で発表し、市主催のプロジェクト「TRI-NEXT越境部」や「みよし未来環境会議」等へも有志数名が参加し「みよし教育フェスタ」で広く発信した。

年度後半からは、これらの多様な学びを、本校生徒会執行部としてリーダーシップを発揮し、生徒会委員会活動や生徒朝会等の充実、地域貢献へ繋げようとしている。

学校生活アンケート（令和7年12月実施）等から、「学校へ行くことが楽しい」と思う生徒数や、自己肯定感等については比較的高い。一方、家庭学習や読書量が少ない生徒が多く課題である。今後、重点的に取り組んでいく必要がある。

また、不登校や不登校傾向の生徒が数名いることから、スクールカウンセラーや関係機関等とも連携を図りながら、居場所づくりや学びの場の創出に取り組み、社会的自立に向けた支援を継続する必要がある。

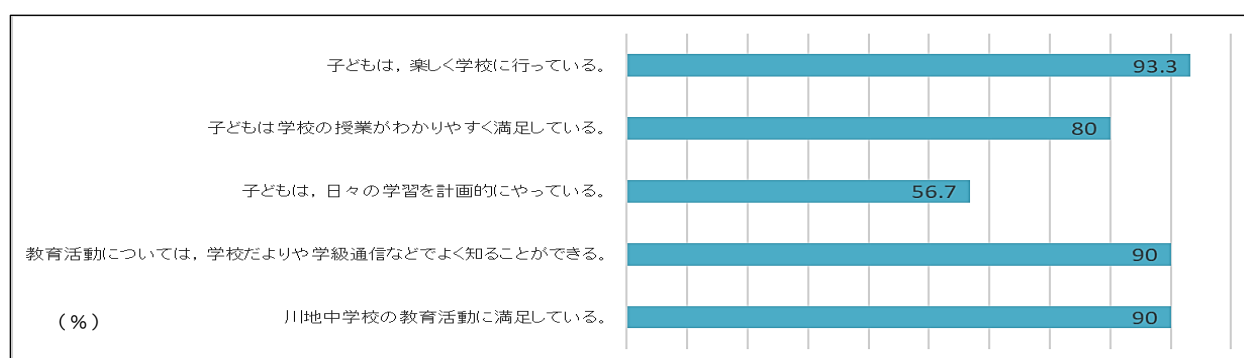


【学校生活アンケート（生徒） 令和7年12月実施 33名/全校生徒34名】

○信頼される学校づくり

令和7年度から川地中学校区学校運営協議会を導入し、コミュニティー・スクールとして学校運営を行っている。川地中学校・川地小学校・青河小学校3校で共通目標を「ふるさとを愛し、高い志をもつ児童・生徒の育成」とし、実態から、「主体性」「協働性」「表現力」の三つの資質・能力を重点的に高めることとし、広く地域・保護者と共通認識を図りながら、協働して取り組んでいる。

保護者による学校運営に関するアンケート結果からは、本校教育に概ねご理解をいただいているが、全保護者から本校で学ばせて良かったと思ってもらえる学校運営に向けて、さらなる取組が必要である。



【学校運営に関するアンケート結果（保護者） 令和7年12月実施 30/全家庭32】